

ケアネットせとうち通信



市民公開講座

医療・教育・福祉をつなぐ聴覚支援

「専門医が教える『聞こえ』のしくみ」

【内容】講演：より豊かなシニアライフを送るために

～これだけは知って欲しい 高齢者の『聞こえ』について～

質疑応答

【座長】岡山大学学術研究院医歯薬学域 耳鼻咽喉・頭頸部外科学 教授 安藤 瑞生 氏

【講師】岡山大学病院聴覚支援センター 准教授 片岡 祐子 氏

9月21日に、瀬戸内市総合福祉センターで市民公開講座を開催し、市民や関係者95名が参加しました。

講演では、講師の片岡氏から、誰でも年齢とともに聴力は低下するが医療機関を受診する人が少ない現状や医療機関を受診し聞こえをチェックすることの大切さ、補聴器は医師の診断のもとで購入し自身の聞こえの状態に合うよう専門家に複数回調整してもらう必要があることなどについて、専門医の立場からわかりやすく説明がありました。また、質疑応答では、参加者の皆さんが日ごろ感じている聞こえに関する疑問や悩みなどに座長の安藤氏・講師の片岡氏から回答があり、自身の健康について考えることのできる貴重な機会となりました。

瀬戸内市では、今後も在宅療養などに関する市民向けの講座や出前講座を開催します。広報せとうちや市ホームページでお知らせしますので、ぜひご参加ください。



安藤 瑞生 氏



片岡 祐子 氏

瀬戸内市在宅医療・福祉・保健連携推進協議会を開催しました

愛称：ケアネットせとうち

医療・福祉・保健の関連団体から選出された委員が連携し、在宅医療・福祉・保健連携推進に必要な事項について検討を行っています。

第1回 令和5年6月13日(火)

前任の委員の皆様の任期満了に伴い、各機関・団体から委員をご推薦いただき、第1回の協議会を開催しました。会長・副会長は委員の皆様の中から互選により選出することとなっており、竹内 宣昭 会長・長田 建 副会長が再任されました。委員の皆様々の任期は令和5年6月1日から令和7年5月31日までの2年間です。

各機関・団体の令和5年度の地域包括ケア実行計画の年次目標、協議会と市が主催する市民講座「在宅医療・介護推進フォーラム」、前回の協議会でも協議した在宅療養者の生活場面のうち、医療と介護が共通する4つの場面（①日常の療養支援、②入退院支援、③急変時の対応、④看取り）に関する連携が必要な課題等についての協議を行いました。

第2回 令和5年9月19日(火)

第2回の協議会では、市民講座「在宅医療・介護推進フォーラム」、瀬戸内市内医療機関一覧やケアネットせとうちホームページ介護・医療・福祉専門職専用サイトの医療機関・事業所情報の掲載項目の見直し、専門委員会等についての協議を行いました。

おしらせ

市民講座「在宅医療・介護推進フォーラム」を開催します！

日 時：令和5年12月9日(土) 午後2時～午後4時(午後1時30分開場)

場 所：瀬戸内市総合福祉センター 2階大会議室

テーマ：認知症と共に生きる～認知症になっても自分らしく暮らせるまち瀬戸内市～

内 容：講演・発表・特設コーナー

講 師：公益財団法人慈圭会 慈圭病院 副院長 石津 秀樹 氏

詳細は広報せとうち
折込チラシや
市ホームページで
ご確認ください。

瀬戸内市福祉サービス事業所向け勉強会

10月5日に、瀬戸内市地域自立支援協議会こども部会との共催で勉強会を開催しました。この勉強会は、昨年度から年1回、相談支援専門員、児童発達支援・放課後等デイサービス・保育所等訪問支援を実施している事業所の管理者・児童発達支援管理責任者などを対象に開催しているもので、今年度は20名の参加がありました。

教育委員会総務学務課職員による講義「子どものこれからのを考える～通常学級での支援について～」、グループワーク形式での感想や疑問の共有などを行いました。

参加者が日頃の支援の中で感じている学校の中での支援等に関する疑問についての助言・回答を今後の支援に活かすことができる内容となりました。



第23回

テーマ あなたの経験したコロナ 話して学んでみませんか



せとうちカフェは、市内でケアに携わる医療・介護・福祉・保健・行政等関係者の顔の見える関係づくりと日頃のケアの相談・地域ケア向上に向けた交流の場。世話人である「せとうちカフェ協力隊」のボランティアの皆さんと一緒に運営しています。

新型コロナウイルス感染症の影響で、昨年度はオンライン形式で開催しましたが、7月20日に、3年5カ月ぶりに集合形式で開催しました。

参加者は、チャット1では「今だから言えた、言えること」、席を移動してのチャット2では「今後につながる工夫」についてトークを行いました。参加者の約3分の1が初めての参加でしたが、テーブルホストの皆さんを中心とした話しやすい雰囲気づくりのおかげで、どのテーブルもトークが盛り上がり、参加者からは「多くの意見が聞けて良かった」「久しぶりの対面開催で顔を合わせて話ができて楽しかった」などの感想をいただきました。また、エッセンシャルワーカーとして頑張ってきた体験を共有し、ねぎらい合う時間ともなりました。



第24回せとうちカフェ

日時：令和5年11月17日（金）
午後7時～午後8時30分

場所：瀬戸内市総合福祉センター 2階大会議室

テーマ：最初はできなくてあたりまえ

こんな所までデジタル化



事業所にご案内をお送りしています。多くの皆様のご参加をお待ちしています！

協力隊
募集中!



せとうちカフェは、企画段階から、世話人である協力隊の皆様に関わっていただき、当日も、マスター（司会）、サブマスター（全体の進行）、テーブルホスト（グループトークの進行）などとしてご協力いただいています。あなたも協力隊に登録し、医療、介護、福祉などのさまざまな職種の皆様と横のつながりを作ってみませんか。詳しい登録方法についてはケアネットせとうちホームページ「せとうちカフェ」のページをご覧ください。

<https://www.city.setouchi.lg.jp/site/carenetsetochi01/123125.html>

在宅医療多職種連携研修会 参加者募集中！

日時：令和5年11月30日（木）午後7時～午後8時30分（午後6時30分受付開始）

場所：瀬戸内市総合福祉センター 2階大会議室

テーマ：骨折からの在宅復帰について

講師：公益財団法人操風会 岡山旭東病院
整形外科 平野 浩司 氏

対象となる事業所にはご案内をお送りしています。申込方法など詳細はチラシをご覧ください。

認知症初期集中支援チームによるサポートをしています！



認知症初期集中支援チームの活動

認知症は、加齢に伴い、誰もがかかりうる疾患とされています。チーム員は、認知症サポート医の医師と保健師や看護師、社会福祉士などの専門職で、自宅を訪問して日常の困りごとなどをお聞きし、必要に応じて認知症に関する情報の提供や医療機関の受診、介護保険サービスの説明など、初期の支援を多方面から集中して行い、自宅での自立した生活を支援します。

かかりつけ医や専門医、「認知症相談窓口」の瀬戸内市地域包括支援センターなどとも連携しています。

支援対象となる人

市内の自宅で生活している40歳以上で、ご家族の相談などにより認知症が疑われる人で、次のいずれかに該当する人です。

- ・ 医療及び介護保険サービスを受けていない、または中断している
- ・ 医療または介護保険サービスを受けているが、適切なサービスに結びついていない
- ・ 認知症の症状が著しく、ご家族など支援者が対応に困っている

チーム員活動にご協力をお願いします

チーム員活動には、医療・介護機関、地域の支援者の皆様などとの連携が不可欠です。今後とも、引き続き活動へのご協力をよろしくお願いします。

認知症の症状でお困りになったら、
瀬戸内市地域包括支援センター 認知症相談窓口（電話 0869-24-0001）にご相談ください

トータルサポートセンター（ケアネットせとうち事務局）のご案内

医療・福祉・保健等に関する総合的な相談を受け、多職種連携で支援を行います。

【相談対応職員】
保健師・相談支援専門員

【相談時間】
午前8時30分～午後5時15分
（土曜日・日曜日・祝日・年末年始を除く）

【所在地】
瀬戸内市邑久町山田庄845番地1
（瀬戸内市民病院1階 玄関南側）

【電話番号】(0869) 22 - 3800
【ファックス番号】(0869) 22 - 3801



ケアネットせとうち

